

獲得研究費一覧

代表者	研究期間	所管省庁等/研究事業	総額配分額 (千円)	研究課題名
河田 則文	2016～2018	日本医療研究開発機構研究費 肝炎等克服緊急対策研究事業	36,000	星細胞の活性化制御を基軸とする肝硬変治療薬の開発
河田 則文	2016～2018	日本学術振興会 基盤研究(B)	14,690	星細胞におけるサイトグロビン発現調節技術の確立による脱繊維化治療法開発
田守昭博	2015～	日本学術振興会 基盤研究(C)	4,550	C型肝炎ウイルス排除後の肝病態に関与する因子の探索
榎本 大	2016～2019	日本学術振興会 基盤研究(C)	4,550	SVR症例におけるマイクロRNAを用いた肝発がんリスクマーカーの開発
寺西 優雅	2016～2019	日本学術振興会 基盤研究(B)	3,770	胆汁酸の機能解析を基軸とした肝線維化抑制に関する新規標的因子の探究
LE THUY	2016～2019	日本学術振興会 基盤研究(B)	3,900	Protective role of CYGB in prevention of liver fibrosis development in vitro and in vivo
河田 則文	2013～2015	日本医療研究開発機構研究費 肝炎等克服緊急対策研究事業	43,200	肝星細胞脱活性化剤開発による肝硬変の肝機能改善と肝発がん予防
村上 善基	2013～2015	日本医療研究開発機構研究費 肝炎等克服実用化研究事業 (B型肝炎創薬実用化等研究事業)	43,200	B型肝炎ウイルス構造解析による薬剤応答性の評価と 新規治療薬開発に関する研究
萩原 淳司	2014～2016	日本医療研究開発機構研究費 革新的がん医療実用化研究事業	20,872	膵管内乳頭粘液腫瘍患者における超早期膵癌捕捉技術の開発
HOANG HAI	2014～2016	日本学術振興会 若手研究 (B)	3,990	HCV排除後肝発癌におけるmiRNA 発現と遺伝子多型に関する研究
松原 三佐子	2015～2017	日本学術振興会 基盤研究(C)	1,080	新規肝硬変治療薬の開発を目指した星細胞脱活性化の分子機序解析
川村 悦史	2015～2017	日本学術振興会 基盤研究(C)	4,810	若年胆管細胞癌の遺伝的な発症リスクの検証
小塚 立蔵	2015～2016	日本学術振興会 若手研究 (B)	4,030	肝発癌例での次世代シーケンサーを用いたHBV遺伝子変異と 宿主遺伝子多型の解析
河田 則文	2013～2015	日本学術振興会 基盤研究(B)	12,200	星細胞サイトグロビンは慢性肝障害からの発がん過程に関与するか？
榎本 大	2013～2015	日本学術振興会 基盤研究(C)	3,800	B型肝炎におけるマイクロRNAを用いた肝線維化マーカーの開発
藤井 英樹	2013～2015	日本学術振興会 基盤研究(C)	3,900	脂肪肝炎における肝脂肪化のメカニズムの解明
LE THUY	2013～2015	日本学術振興会 若手研究(B)	3,100	非アルコール性脂肪性肝炎の病態形成におけるサイトグロビンの関与
榎本 大	2012～2013	大阪市立大学 戦略的研究(萌芽研究)	2,620	血中マイクロRNAを用いた肝線維化バイオマーカーの開発に関する研究
河田則文	2011～	文部科学省 新学術領域研究	4,420	癌微小環境形成におけるサイトグロビン陽性あるいは陰性筋線維芽細胞の役割
田守昭博	2011～	日本学術振興会 基盤研究 (C)	2,210	肝細胞内微量B型肝炎ウイルスの病的意義に関する研究
森川浩安	2011～2012	キヤノン財団 研究助成プログラム「産業基盤の創生」	17,000	超音波速度の温度依存性を利用した内臓脂肪診断装置の開発
藤井英樹	2011～	日本学術振興会 若手研究 (B)	2,600	脂肪肝炎を基盤とした肝発癌におけるマイクロファージスカベンジャー受容体の役割
河田則文	2010～2011	日本学術振興会 挑戦的萌芽研究	3,330	癌発生におけるサイトグロビン発現間葉系細胞の関与
河田則文	2010～2010	大阪市立大学 新産業創生研究	1,940	ヒト肝臓の再構築を可能とするナノフロー三次元培養装置開発研究
榎本 大	2009～2011	日本学術振興会 基盤研究 (C)	4,550	C型慢性肝炎の肝内マイクロRNA発現とIFN・リバビリンの治療効果
森川浩安	2010～2010	大阪市立大学 新産業創生研究	1,900	温度変化を利用した新たな腹部超音波検査法
小川智弘	2010～2010	日本学術振興会 若手研究 (B)	2,210	星細胞を標的としたマイクロRNAの強制発現による線維化治療法の開発
河田則文	2009～2011	日本学術振興会 基盤研究 (B)	12,090	サイトグロビンノックアウトマウスを用いた肝硬変・肝癌病態解析
藤井英樹	2009～2010	日本学術振興会 若手研究 (B)	4,420	脂肪性肝炎の病態形成におけるマクロファージスカベンジャー受容体の役割
河田則文	2008～2010	厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業	51,801	インターフェロンの抗肝線維化分子機構の解明とその応用
河田則文	2008～2010	大阪市立大学重点研究	4,600	脂肪性肝臓病の病態解明に基づく予知・予防と治療法に関する研究
河田則文	2006～2007	日本学術振興会 萌芽研究	3,100	変性赤血球による非アルコール性脂肪性肝炎病態の修飾
河田則文	2004～2005	日本学術振興会 基盤研究 (C)	3,500	肝硬変で発現誘導される細胞質グロビン蛋白(サイトグロビン)の分子機能解析
田守昭博	2004～2006	日本学術振興会 基盤研究 (C)	3,000	HBV DNAのヒトゲノムへの組み込みからみた肝発癌機構の再考
河田則文	2002～2003	日本学術振興会 基盤研究 (C)	3,400	星細胞と線維化肝で発現する新遺伝子stapの分子機能と臨床病態的意義の解析
河田則文	1999～2000	日本学術振興会 基盤研究 (C)	3,100	肝臓におけるプリオン発現とその臨床病態学的意義の解析

河田則文	1997～1998	日本学術振興会 奨励研究(A)	2,300	肝星細胞活性化の分子解析とそれを利用した肝線維化抑制法の開発
田守昭博	1997～1998	日本学術振興会 奨励研究(A)	1,700	慢性肝疾患(特に肝細胞癌)におけるIRF-1の変化とIFN治療に関する研究
河田則文	1996～1996	日本学術振興会 奨励研究(A)	1,100	肝類洞細胞に発現する特異蛋白のcDNAクローニングとその機能解析

[制作・著作]大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学教室 (2016年9月23日作成)